

「AYA 世代(Adolescent and Young Adult)の終末期がん患者の医療体制整備のためのニーズ調査」に関するお知らせ

このたび、AYA 世代の終末期がん患者が自分の希望する場所で人生の最期を迎えられる体制を整備することを目的として、調査を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では患者さんにご協力をお願いすることはありません。

調査は、医療従事者を対象に実施され、調査用紙の記入におよそ 5 分程度要するため、回答に際する時間的な負担をおかけする可能性があります。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

当院の連携する医療圏内の病院、クリニック、訪問看護ステーション等の医療従事者に調査しています。

2017 年 1 月～2021 年 12 月に、当院から在宅連携を行った AYA 患者(施設へ連携された時のご年齢:13 歳～39 歳)について、患者背景調査を行います。

2. 研究の目的

第 4 期がん対策推進基本計画が策定され、小児・AYA 世代のがん対策において、地域の実情に応じた拠点病院等の役割分担と連携体制の整備が求められています。当院は地域がん診療連携拠点病院であり、埼玉県より終末期医療の理解促進事業における「地域がん診療連携拠点病院間ネットワークづくり」と、「顔の見える関係を構築し、地域のネットワークを推進・強化するための実技研修(集合研修)を企画実施」の役割分担が提示されました。そのため、この事業は、小児・AYA 世代の終末期の医療について医療機関の医療者が十分に認識することが支援への第一歩であり、医療者教育が重要であると考えます。そこで、小児・AYA 世代の終末期医療を担う医師や看護師、薬剤師やリハビリセラピストなどを対象にアンケート調査を行い、ニーズを把握できれば、地域のネットワークを推進・強化するための実技研修の有用性が明らかになると同時に、ニーズにあった研修企画の運用ができ、終末期の小児・AYA 世代により有益な終末期医療を提供できると考えます。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026 年 3 月 31 日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

患者背景調査について、患者背景調査(患者氏名・患者の生年月日・性別・疾患・初診日・医療連携施設・転帰・転帰日)をカルテより抽出する。

【埼玉医科大学国際医療センター】において、研究責任者である一瀬友希が、個人が特定できないよう

に加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。
また、連携後の紹介施設の医療従事者より、上記内容について、アンケートを用いて回答を得ます。

2. 試料・情報の取得方法

アンケート調査については、オンライン調査となります。

患者背景調査については、電子カルテから抽出し、匿名化された状態で解析します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター乳腺腫瘍科	一瀬友希（研究代表者）
埼玉医科大学国際医療センター緩和ケアセンター緩和ケアチーム	矢吹みどり
埼玉医科大学国際医療センターがん診療支援室	今井純子
埼玉医科大学国際医療センターがん相談支援センター	歌谷知子
埼玉医科大学国際医療センター緩和ケアセンター緩和ケアチーム	大関ちはや
埼玉医科大学国際医療センター看護部	前場富子
埼玉医科大学国際医療センター小児腫瘍科	福島敬
埼玉医科大学国際医療センター支持医療科	高橋孝郎

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター乳腺腫瘍科 一瀬友希（研究代表者）

お問い合わせについて

ご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科

研究責任者 一瀬友希

〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

042-984-4111

（対応可能時間帯：平日 8：30～17：30）

○研究課題名：「AYA 世代の終末期がん患者の医療体制整備のためのニーズ調査」

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科 一瀬友希